

令和8年度入学試験問題（前期日程）

小論文

特別支援教育教員養成課程
特別支援教育初等教育プログラム
特別支援教育中等教育プログラム

注意事項

1. 解答は、すべて別紙解答紙に横書きで記入すること。
2. 解答紙には、必ず受験番号を記入すること。

〔問〕

次の文を読み、学ぶ立場で、あなたの考えを 600 字以上 800 字以内で述べてください。

デジタル教科書を、紙と同様に正式な教科書と認める案を、中央教育審議会の作業部会が大筋で了承した。教材という今の法的な位置づけの変更を求めるもので、中教審などでさらに議論して決める。

教科書になると、小中学生向けは無償提供の対象となる。また、文部科学省の検定を受け、教育委員会などによる採択を経て配られるようになる。今の制度では、教委などがその地域で使う教科書について、紙かデジタルのいずれかを選ぶ形になりそうだ。

作業部会は、双方の長所を生かす「ハイブリッド」教科書も認めるよう求める。一部を紙で、一部をデジタルで学ぶイメージだ。

これまでの活用で紙、デジタルそれぞれに、効果を発揮しやすい教科や分野が見え始めている。子どもの特徴によっても受け止め方は異なる。一人ひとりの子に最も合った方法で学べるよう、柔軟に使い分けられることをめざす必要がある。文科省は一人ひとりの能力を伸ばしながら、こぼれ落ちる子をなくす仕組みを作らなければならない。

作業部会は、2030 年ごろに実施される次の学習指導要領に合わせた導入が望ましいとした。今後は、海外の例も含め、活用した際に効果があると本当に言えるのか、悪影響はないのか、幅広い検証に基づいて十分に議論を詰めたうえで、最適な使い方を見つけていくのが肝要だ。

外国にルーツがある子や障害がある子など、学校では多様な特徴がある子が学ぶ。従来の一斉授業では対応が難しくなっており、一人ひとりの子に合わせた教育が求められている。音声読み上げや文字拡大などの機能があるデジタル教科書が有効だとし、19 年度から全国の学校で使えるようになった。

コロナ禍が始まった 20 年度以降、文科省が小中学生全員に情報端末を配布。「当面は紙と併用」という方針のもと、24 年度は小 5～中 3 の全員に英語、一部に算数・数学などを無償配布している。

教員は、子どもの学習進度に応じた授業や、多様な意見を共有して考える授業などでデジタルの効果を感じている。一方、紙は一覧性や俯瞰（ふかん）性に優れているとされる。

紙とデジタルを上手に使い分けるには、教員の能力向上も欠かせない。文科省や自治体は、現職教員の研修や大学などでの教員養成課程の充実にも、いっそう力を入れる必要がある。選んだ教科書の形態や、教員のデジタルへの対応力によって、子どもが受ける教育に差が付くことがあってはならない。

【出典】

「デジタル教科書 紙との使い分け 柔軟に」

朝日新聞 2025年2月19日 朝刊 p10 【社説】より